

【1. 初期設定の説明】

★アドインの有効化

- ①同梱されているアドインファイル (TLookup.xlam) を
ユーザ環境のアドインフォルダに置きます。

C:¥Users¥**ユーザー名**¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥AddIns
(ユーザー名はPC環境によって変わります)

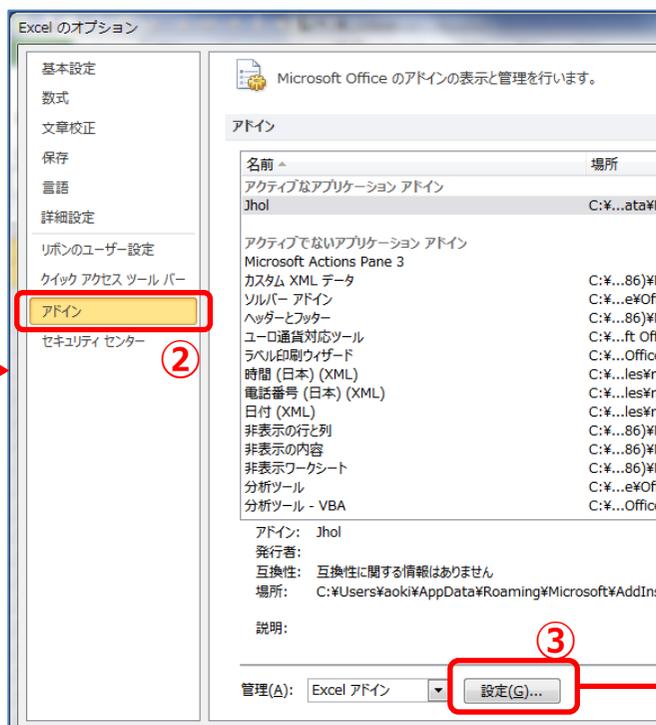


- ②Excelを開いてアドインを追加します。

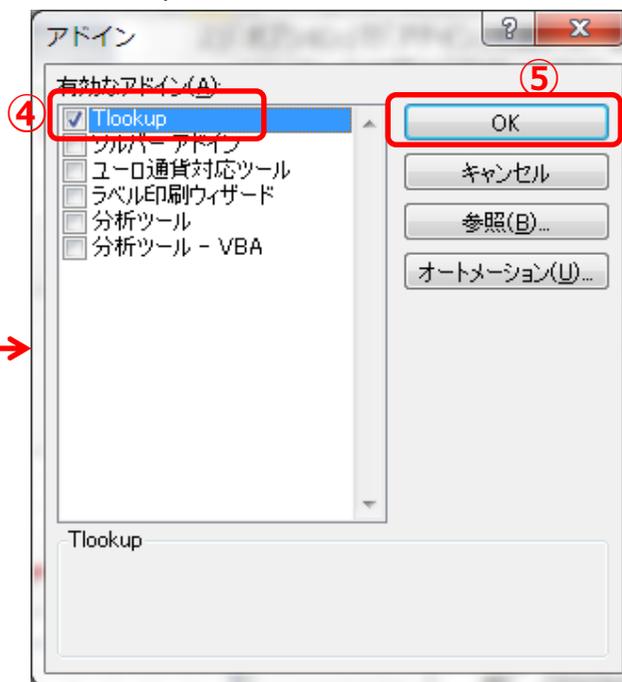
- 1)「ファイル」タブー「オプション」を選択します。



- 2)「オプション」で「アドイン」を選択し「管理 : Excelアドイン」
となっている状態で「設定」を選択します。



- 3) 「TLookup」にチェックを入れ、OKをします。



【2. 関数の説明】

①関数の書式

=TLookup (検査値、範囲、検査値タイトル、結果値タイトル)

検査値：検査値タイトルの列で検索する値を指定します。(必須)
 範囲：目的のデータが含まれるセル範囲を指定します。先頭行はタイトルとします。(必須)
 検査値タイトル：検索する列のタイトル名を指定します。(必須)
 結果値タイトル：結果を返す列のタイトル名を指定します。(必須)

②使用例

「B4」に2018/10/9、「C4」にタイトルE、「D4」にタイトルAを入力して、「F4」に「=TLookup(B4,Sheet2!\$B\$2:\$F\$12,C4,D4)」の関数を入力するとタイトルE列の2018/10/9に該当したタイトルA列の値が表示されます。検索できない場合は、空白が表示されます。

任意のセル範囲に検索するデータのテーブルを作成します。先頭行には、必ず各項目のタイトル名を入力します。(重複不可)

F4 =TLookup(\$B\$4,Sheet2!\$B\$2:\$F\$12,\$C\$4,D4)

A	B	C	D	E	F	G
	検査値	検査値タイトル	結果値タイトル		結果値	
	2018/10/9	タイトルE	タイトルA		10	
			タイトルB		11	
			タイトルC		12	
			タイトルD		13	
	52	タイトルC	タイトルA		50	
			タイトルB		51	
			タイトルD		53	
			タイトルE		43386	

B2 タイトルA

A	B	C	D	E	F	G
1						
2	タイトルA	タイトルB	タイトルC	タイトルD	タイトルE	
3	10	11	12	13	2018/10/9	
4	20	21	22	23	2018/10/10	
5	30	31	32	33	2018/10/11	
6	40	41	42	43	2018/10/12	
7	50	51	52	53	2018/10/13	
8	60	61	62	63	2018/10/14	
9	70	71	72	73	2018/10/15	
10	80	81	82	83	2018/10/16	
11	90	91	92	93	2018/10/17	
12	100	101	102	103	2018/10/18	
13						
14						

結果値の書式が日付の場合は、シリウス値が返ってきます。受取り側のセルも同じ日付書式にします。

引数に文字列を直接入力しても同じ結果になります。

F4 =TLookup(52,Sheet2!\$B\$2:\$F\$12,"タイトルC","タイトルA")

A	B	C	D	E	F	G	H
	検査値	検査値タイトル	結果値タイトル		結果値		
					50		